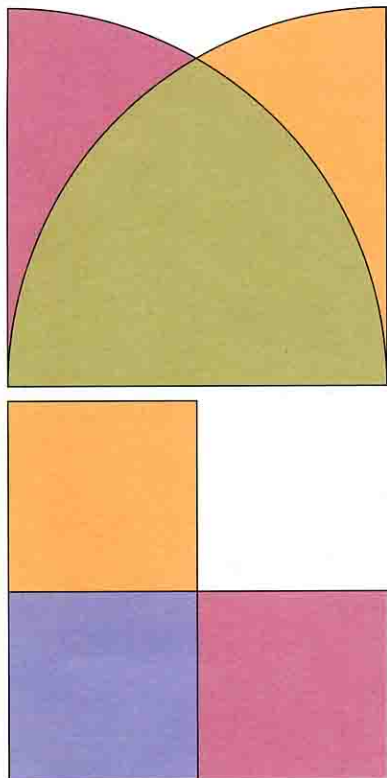


# ミュージアム・レター



Gakushuin University  
Museum of History

## Museum Letter No.3

発行日 ● 平成19年(2007)3月15日

もくじ

ごあいさつ .....	1
学習院に伝わる資料と高松宮 .....	1
特別展出品資料より 御爪箱／ランドセル／メダル・バッジ等 .....	2・3
お知らせ .....	4

### 学習院大学史料館第27回特別展 「新収資料 高松宮家展」

会期:2007年4月7日(土)~6月9日(土)  
開室時間:平日12:00~17:00、土曜日10:00~12:00  
日曜日・祝日・5月15日(火)は閉室  
特別開室:4月8日(日)入学式10:00~15:00  
4月15日(日)オール学習院の集い10:00~15:00

会場:学習院大学史料館展示室(北2号館1階)入場無料  
協力:(財)高松宮妃癌研究基金

## 1.ごあいさつ

学習院大学史料館では、平成19年(2007)4月7日(土)から6月9日(土)まで、特別展覧会「新収資料 高松宮家展」を開催いたします。戦前に高松宮から学習院に寄贈された教育関係資料や近年当館が受贈した高松宮家のゆかりの品を展示し、大正期の学習院での学生生活や、普段あまり接することがない宮家の生活をご紹介します。

本ミュージアム・レター第3号では、この特別展覧会に出品する資料のなかから3点を選び、詳しくご紹介いたします。この機会に、当館収藏品への理解を深めていただければ、まことに幸いです。(館長 神田龍身)

## 2. 学習院に伝わる資料と高松宮

明治10年(1877)、学習院は皇族・華族の子弟の教育機関として創立し、戦後私立大学として再出発したのちも、戦前からの貴重な資料を受け継ぎ、学術的な立場から研究を続けてきた。

ここでは学習院と高松宮についての関係を述べつつ、現在では入手することが難しい貴重な資料がどのように収集されたのかを紹介する。

戦前の学習院歴史地理標本室は、教材として標本・地図・写真などを有していたが、大正12年(1923)の関東大震災で多くを焼失した。これを補うため、当時、学習院と同じ宮内省管轄の機関(皇室博物館等)など多方面から資料の寄贈を受けた。その資料の中には高松宮からの寄贈資料も多数含まれている。

高松宮は、明治38年に大正天皇の第三皇子として誕生し、同44年に学習院初等科に入学、大正9年中等科を3学年修了して退学し、海軍兵学校予科に進んだ。関東大震災の時、同校第3学年であった高松宮は、精力的に被災地を慰問した。その際、被災した母校の学習院を訪れ、各地で収集した標本・写真・絵葉書などを寄贈した。また、同14年海軍少尉に任官された後、軍艦で遠洋航海演習に参加し、昭和3年(1928)・同8年南洋方面での演習時に献上されたカヌー模型など民族資料も学習院へ寄贈している。

後輩たちの勉学と研究を充実させたいという高松宮の思いとともに、学習院にはゆかりの貴重な資料が多数残されている。

(野尻泰弘)



マーシャル諸島カヌー模型